



## 令和元年 八雲町最初のイベント! 第25回 熊石あわびの里フェスティバル

5月19日、熊石青少年旅行村にて「熊石あわびの里フェスティバル」が開催されました。ピクニック日和の快晴の中、道内各地などから約3万人が会場へ来場し、あわびやエゾバカ貝（アオヤギ）のほか、地元の海産物や農産物などを楽しみました。ステージイベントでは、日本海はまなす太鼓や熊石レディースネットによるスコップ三味線の演奏、あわびが当たるダーツゲームやあわび宝もちまきが行われました。出店の中には、特産品を通じて熊石地域の活性化に取り組む札幌大谷大学の学生ら15名による、地元の海産物を使った「くまいしカレー」を販売し、あわびの里フェスティバルを盛り上げていました。

同実行委員長の刀禰清貴さんは「令和の始めとともに第25回目の節目となる熊石あわびの里フェスティバルが無事に開催でき、大きな喜びを感じている」と語りました。



## 北海道警察音楽隊が演奏! 春の全国交通安全運動・ 春の地域安全運動出動式

5月12日、シルバープラザにて町内の防犯を啓発しパトロールする「春の地域安全運動出動式」が行われました。

この運動は、5月11日～20日の間、警察、自治体などの関係機関や地域の防犯ボランティア団体が連携し、地域住民の自主防犯意識の高揚を図り、地域安全運動を推進するものです。

また、今年は北海道警察音楽隊の演奏もあり、訪れた約200名の町民は生演奏に拍手喝采でした。



## 看護師ってどんな仕事? 八雲総合病院 「1日看護体験」

5月14日、八雲総合病院において「1日看護体験」が行われました。看護師を目指す八雲高校、檜山北高校の2・3年生の男女14名が参加しました。

白衣に着替えた参加者はそれぞれの入院病棟に入り、病院スタッフから看護の方法や、患者さんが使用するベッドを整えるなど、看護師の業務内容を実際に体験し、「将来看護師を目指すうえで、貴重な経験ができた。」と話していました。

